

令和7年度日中サービス支援型指定共同生活援助評価シート

評価日：令和7年11月20日

評価事業所名：イノベル古河旭町

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会記入欄】 ※グレー枠はプルダウンで選択 要望・助言・その他を選んだ場合は内容を記載
1. 地域に開かれた運営	①利用者に対する指定計画相談支援に提供は別法人が行っているか。	(別法人等による指定計画相談支援の提供状況) 別法人等 20名中、20名 古河市内の相談支援事業所 17名 古河市外の相談支援事業所 3名	■特になし
	②実習生やボランティアを受入れているか。	(受入人数) 実習生 0名・ボランティア 0名 (受入事例)	■要望・助言 ・個人情報の問題もあり、外部の人を入れることへの抵抗感があると思います が、将来への福祉人材の確保の意味も含め、実習生の受入があると良いと思います。 ・ボランティア募集の機会を増やすこと。 ・社協としてボランティア派遣につながらなかったことは残念でした。地域との交流ができれば、ボランティア希望もでくるのではないかと思います。
	③地域住民との交流の機会が確保されているか。	(交流機会の事例) 無し	■要望・助言 ・法人として行政自治会（町内会）への加入を検討されたい。 ・自立支援協議会でも話題があったように、普段の生活場面でも地域との交流として記載できることも多いため、次回に反映してほしいです（例：地域のお店に買い物に行く、お散歩時に近隣住民に挨拶をする、地域のお祭りに参加する等）。 ・社協等のコミュニケーション機会を捉える。 ・地域連携推進会議を通して、地域関係者から地域住民との関わり方などの助言を得られると良いでは。 ・地域と交流をするには、地域の人たちの施設の理解も必要だと思います。まずは市民清掃などをきっかけに職員と地域で関係性を作ってみるのもいいと思います。貴施設がある地域には、地域食堂、炊き出し訓練など積極的にやっている地域なので良い関係性ができれば協力も得られるのではないかと思います。 ・今後交流の機会が増えることを期待しています。今年度義務化された地域連携推進会議の開催を契機に、地域の方と顔の見える関係を築くきっかけとなることを期待しています。 ・利用者の皆様の障害の特性や個性において、なかなか難しい状況があるとは存じていますが、日常生活を少しでも見直しを行うことで、地域との交流機会の新たな視点や気づきがあると考えています。小さなことからでも良いと思いますので、ぜひ積極的に検討して頂き、実践に繋げていって頂きたいと思います。

2. 常時の支援体制の確保	①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況等) 日中・土日と階ごとに1～3名を配置	■特になし
	②災害時における、利用者への安全対策(マニュアル作成等)を講じているか。	(安全対策(マニュアル)や避難訓練の実施等の事例) 1 事業継続計画 マニュアルは作成済み 研修は①入職時②定期(今年度は4月に実施)を行う。訓練は日程調整中。 2 避難訓練の実施(今年度は7月に1回目実施)	■要望・助言 ・本社から避難訓練等の実施についての通達があるようであるが、イノベル古河西牛谷と内容等についての認識合わせが必要と感じる。 ・事業継続計画については、研修とともに訓練が必須となっているため、年度内にきちんと実施しているか、確認が必要であると思います。 ・概ね達成出来ていると思われる。 ・BCPをはじめ消防法や水防法など関係法令に基づいた計画、訓練など確認の上、利用者皆様の安全対策を、今後も実施して頂きたいと思います。
	③体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	(緊急時の対応方法(急な体調変化等)連携している訪問看護事業所(イノベル茨城)へ連絡し、対応方法について指示を受ける。 →必要に応じて主治医や連携医療機関(ソフィアホームケアクリニック・県西在宅クリニック等)へ連絡。	■特になし
	④利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状況に応じた食事提供・支援しているか。	(心身状況等を考慮した食事提供) ①嚥下状況に応じてペースト食～刻み食を提供。 ②服薬や健康等による禁忌食がある方については、食材の変更等を行う。 ③本人の要望に対し、健康を鑑みて対応。(献立作成法) 食材提供者(タイヘイ)が作成する献立を踏まえて調理を行う。	■要望・助言 ・利用者の嚥下状態に応じ、ペースト食等の食形態に対応されていることは評価できます。
3. 短期入所の併設	①地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(通常受入人数) 8名(古河市7名 下妻市1名)	■要望・助言 ・引き続き積極的な受入をお願いしたい。 ・積極的に地域の利用者を受け入れてもらえてありがたいと思います。
	②緊急・一時的な支援等の受入に対応しているか。	(通常受入人数) 4名(内1名はGHで受け入れ) (緊急受入事例) 家族とのトラブル:2名 一般科病院退院後の生活破綻:1名 家族の入院:1名	■要望・助言 ・緊急時の受入に関しては市部局(障がい福祉課)と連携を取り、協力をお願いしたい。 ・積極的に緊急時の受入れを行ってもらえ、ありがたいと思います。今後も継続してほしいです。 ・緊急、虐待案件の利用者を積極的に受け入れ、きめ細かな対応をされている点はとても素晴らしいと思います。今後も積極的な受け入れを継続して欲しいです。

4. 支援の実施・質の確保	①充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	(外出や余暇活動等の事例) ①利用者の買い物や受診の付き添い、買い物の依頼があった際の対応(適時) ②イベントの実施(今年度2回) (工場見学・夏祭り) ③移動販売と提携し、週2回施設内での買い物ができるようになる	■要望・助言 ・外出が難しい方に対して、移動販売を活用は有効的に感じるので継続して頂きたい。 ・地域交流も意識した活動を実施することで、地域住民との交流につながることを期待しています。
	②支援の質の確保に努めているか。(研修等)	(参加した研修名等) 研修(1)名 強度行動障害障害支援要請研修 研修(1)名 実務者研修 研修(1)名 専門職団体の研修 (スーパービジョン) 研修(1)名 古河市障がい福祉課と共同企画 「障害福祉サービスの利用について」 対象:古河周辺総合病院MSW (自組織で開催した研修) 時期 毎月1回～2回 内容 ・障害特性 ・接遇 ・看取り ・感染対策 ・個人情報 ・記録 ・苦情、緊急対応 ・虐待防止 参加者 全スタッフ	■要望・助言 ・本社からの研修プログラムに沿って、イノベル西牛谷との共通認識合わせのもと支援の質の向上を励行されたい。 ・西牛谷と表示の内容の統一を望む。 ・毎月1回～2回の研修開催は評価できません。準備等大変かもしれませんが、今後も継続して欲しいと思います。
	③一定の研修を終了した者を配置しているか。	・強度行動障害支援者養成研修【基礎】2名・【実践】2名 ・行動援護従事者養成研修 0名 ・各痰吸引等研【第一号】0名【第二号】0名【第三号】0名 ・重度訪問看護従事者養成研修行動障害支援過程 0名	■要望・助言 ・0名の研修会を無くす努力をお願いしたい。
4. 支援の実施・質の確保	④体験的利用の要望に対応しているか。	(体験利用人数) 1名 (体験利用の事例) 精神科病院より当施設への入所を検討され、体験を開始。体験後に正式入所となる。 (体験利用料金) 2,503円/泊(食費等含む)	■要望・助言 ・体験利用を積極的に行っていただきたい。各事業所との連絡を密に行っていただきたい。
	⑤改善や見直しに取り組んでいるか。	(事業所における課題・助言を求めたいこと) ・全体会議にて施設の課題を議題として、強化目標を設定する ・必要に応じて1on1ミーティングを実施 (利用者・家族からの意見・希望) (利用者) ・現場の中で適時本人へ声掛け ※状況に応じて苦情として受け付ける ・モニタリング面接にて確認 (家族) 訪問時や電話対応時に確認 (苦情受付体制について) 「相談苦情事故対応マニュアル」に沿って対応 また施設内での解決が困難な案件(損害賠償等)は上層部が対応する (家族等への連絡機会・頻度) ・モニタリング面接 ・外来受診や緊急受診が必要な際 ・預かり金不足 ・サービスの変更や追加の説明 ・本人からの面会等の依頼 等々	■特になし

5. 利用者の権利擁護等への配慮について	①利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	(金銭管理の支援方法) ・金銭管理契約書を作成 ・入金時に預かり書を作成 ・毎月の出納帳作成(本人か家族へ提示) ・原則利用料等の支払いは口座引き落としとし、請求書・領収書を渡す ・支払いに関する精査は半年に1回実施。 (詳細は重要事項説明書に記載) (成年後見制度の利用支援及び利用者数) 利用者数:0名 ・利用支援事例等 しんらいの会 1名利用	■特になし
	②利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)	(利用者に配慮した支援、取組み) ・個人情報使用の同意書(プライバシーポリシー)の作成 ・個人情報書類は鍵付き書庫にて保管 ・個別支援計画書は本人または家族の署名 ・外部サービスの利用は本人または家族の同意	■特になし
	③虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応は適切か。	(虐待等に関する研修の受講状況) 半年に1回、施設内にて小テストを実施 (虐待発生時の対応、発生後の対応等) 今年度虐待発生無し	■要望・助言 ・施設内での小テストだけでは、虐待等に関する研修は不十分であると思います。ただ、同じ系列の施設であるイノベル古河西牛ヶ谷店と同じ研修を実施しているのであれば、追記しておいた方が良いでしょう。また、ストレスチェックも併用しておいた方が良いでしょう。
6. 入居/退去状況について	①報告/評価対象年度中において、退去理由の確認及び入居時に適切な判定(流れ)が行われているか。	(報告・評価対象年度の入居者数) 3人 (報告・評価対象年度の退去者数の事由) ・退去者数 1人 ・主な退去事由:逝去	■特になし
7. 他の日中活動サービスの利用	①GH内でどのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGHで過ごす利用者に対する支援・サービスの提供) ・食事、入浴、清潔保持等の介護支援 ・掃除、洗濯等の生活支援 ・通院等の医療支援 ・買い物同行や買い物代理対応、散歩同行等の社会生活支援 ・週2回、移動販売の利用	■要望・助言 ・外部サービスを効果的に活用することで、施設での提供が難しい機能を補完することができるかと思います。
	②他の日中活動サービスの利用を妨げていないか。	(他の日中活動の利用状況) ・他の日中活動サービスを利用20名中、17名 (主な他の日中活動サービス種類・利用先) ・生活介護:ありがとうの花／まぐらがの里／おおぞら／ホーム宙 ・就労B:リハスワーク古河／サフラン工房／総活躍古河 ・地域活動支援センター:ふれあい ・精神科デイケア:小柳病院 ・通所リハビリテーション:まぐらがの郷／平成園 ・訪問リハビリ:県西在宅クリニック(PT・ST) ・訪問マッサージ:きらり	■要望・助言 ・様々な日中活動サービスを取り入れていて良いと思います。

8. 利用者の健康管理	①日々の利用者の健康管理をしっかりと行っているか。	(医師や看護婦の訪問有無及び頻度) ・訪問看護の利用(イノベル茨城) 20名利用(週1～2回) ・往診(県西在宅CL/ソフィアホームケアCL) 19名利用(月1～2回) ・往診歯科(緒方歯科) 適時 (健康チェック方法について) ・毎日のバイタル測定 ・食事摂取量の確認 ・訪問看護と医療連携 ・各利用者の通所先の健康診断を踏まえ、必要に応じて提携医療機関と連携を取る (緊急時連絡体制の確保) ・管理者またはサビ管への24時間連絡体制 ・訪問看護への24時間連絡体制 ・往診医療機関への24時間連絡体制	<div>■要望・助言</div>
9. 他事業所との連携	①相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況の事例について) ①相談支援事業所 ・個別支援計画書の提示 ・他サービスの利用や支給量の相談 ・相談支援事業所のモニタリングでの状況報告 ②他のサービス事業所 ・連絡帳の記載 ・体調不良の連絡や対応方法の確認 ・本人への支援に関する情報共有や相談 ・利用量の増減に関する相談	<div>■要望・助言</div> ・相談事業所、サービス提要事業所をはじめ、市役所障がい福祉課との連携を引き続き密にお願いしたい。
10. その他	[独自に「定める項目を記載」]		<div>■特になし</div>
11. (2回目以降)協議会からの要望、助言への対応	要望や助言に対応しているか。	(要望・助言の内容及びその対応) ①BCPに係る運用について 事業継続計画の作成について確認。 前年度感染や災害の研修計画・訓練は予定通りできずにいたが、今年度は予定に合わせて対応。 ②金銭管理について 本社に「利用料規程」がある事を確認。 規程に沿って半年毎に精査を行う。	<div>■要望・助言</div> ・評価に関し、古河市自立支援協議会委員からの質問に対し、回答・説明が即答できない場合が散見される。同法人の西牛谷との事前打ち合わせや内容についての認識合わせを再度行っていただき、今回のモニタリング評価時に備えていただきたい。 ・前回の指摘事項については改善されているので良いと思います。今後もより良いサービスに注力頂けたらありがたいです。 ・西牛谷と表示の内容の統一を望む。概ね達成出来ていると思われる。 ・確認や改善などありがとうございます。今後も適正な運用をよろしくお願いいたします。